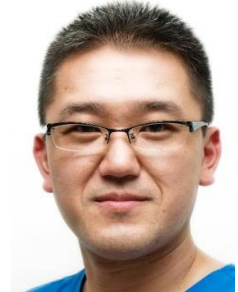


目標と目的を見誤らない

— あなたは、何のために歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士・歯科医療従事者になったのか？ —

講師

吉野歯科診療所歯周病インプラントセンター
吉野 敏明



略歴

平成 5年 岡山大学卒業
東京医科歯科大学歯学部歯科保存学第二講座（歯周治療学）入局
平成 7年 吉野歯科医院福院長
平成11年 日本歯周病学会 歯周病認定医
平成14年 AAP（アメリカ歯周病学会）International Member
平成15年 日本臨床歯周病学会 理事
平成16年 日本臨床歯周病学会 指導医
平成17年 日本歯周病学会歯周病認定医
平成18年 吉野歯科診療所 歯周病インプラントセンター開設
平成19年 AO（アメリカインプラント学会）Active Member
平成20年 日本歯周病学会指導医、日本レーザー歯学会 最優秀研究発表賞 受賞
平成22年 歯学博士取得（東京歯科医科大学）
平成23年 OJ最優秀発表賞 受賞、日本歯周病学会 評議員
平成24年 ペリオウエイブ臨床研究会 代表
平成25年 アメリカPRD学会 2nd Award 受賞

平成25年12月4日（水）

19:15pm～21:00pm

白鳥歯科インプラントセンター2F研修室

参加費

歯科医師5,000円

歯科衛生士・スタッフ 1,000円

その他資格等

I型糖尿病歯周病治療受け入れ機関指定医、J I A D S 講師
昭和大学兼任講師、新潟大学非常勤講師

仏教に、“宿命、運命、立命”という言葉があります。これを現代の科学で説明すると、宿命；親から宿された命＝DNA、性別、血液型など変えられないもの、運命；3歳までに母乳などで母親から与えられたIgGなどの免疫、脳のニューロンが親の価値観によって形成される時期、立命；命を立てる＝30歳前後で、自分のそれまでに社会科学的に受けた影響によって価値観を決め、命を立てる、つまり死ぬまで自立して生きる、となります。我々歯科医療人は、0歳児から患者さんが死ぬまで、という命の成長の現場を見て、その発達と変遷の状況に応じて治療をします。いえ、死んでからも遺体を歯型で同定するのは、東北大地震でも阪神大震災でも歯科医師でした。そして、生まれる前、赤ちゃんの生死に関して、影響のあるのは母親の歯周病＞喫煙＞アルコール、つまり、生まれるまえにも我々の職域は影響しているのです。

今回は、歯科医療が患者の歯、咬合、嚥下だけでなく、歯周病と全身疾患、睡眠時無呼吸症候群、そして子供の発育と教育、そしてどのように老いて死んでいくかを症例を交えながら講演し、我々がどのように歯科医療人として“立命”するかをお話しさせて頂きたいと存じます。皆様のご指導、ご批判を期待します。